

コーポレートコミュニケーション部：名古屋市東区東片端町8番地 Tel 052-950-6307 Fax 052-961-4071
(コード番号 9 9 8 7 東証プライム市場、名証プレミアム市場、札証)

2026年1月23日(金)

低栄養を見逃さない社会の実現へ GLIM 基準に基づく低栄養判定支援システム「Linéa」を新発売

株式会社スズケン（本社：名古屋市、代表取締役社長：浅野茂、以下「スズケン」）は、GLIM 基準^{*1}に基づく低栄養診断をサポートする、病院、介護・在宅向けの低栄養判定支援システム「Linéa（リネア）」を、1月30日より新発売しますので、お知らせいたします。

1. 目的と背景

近年の医療現場では、疾患治療にとどまらず、患者さまの栄養状態を含めた包括的な健康管理の重要性がますます高まっています。特に低栄養は、フレイル^{*2}やサルコペニア^{*3}の進行など多様な健康リスクを招くことが報告されており、早期発見と適切な対応が求められています。現在、多くの医療機関では入院時に低栄養の有無を評価し、低栄養と判定された患者に対して迅速な治療介入が行われていますが、退院後の在宅療養期間においても継続的な栄養管理を実施し、低栄養を見逃さないことが、再入院や重症化の予防につながると考えられています。

こうした背景のもと、医療・介護従事者が低栄養評価に用いる指標として、日本栄養治療学会（JSPEN）が提唱する国際的な評価基準「GLIM 基準」の活用が広がりつつあります。今後は、医療・介護現場へのさらなる普及と定着が期待されています。

2. 開発経緯と今後の展開

スズケングループは、GLIM 基準に基づく低栄養評価を、より簡便に誰でも実施できる測定手法として、下腿周囲長の計測による筋肉量の減少評価に着目し、下腿周囲長の計測結果を用いた低栄養判定支援システム「Linéa（リネア）」を開発しました。

本製品の開発に協力をいただいた北里大学医学部 上部消化管外科学 主任教授 比企直樹氏（日本栄養治療学会〈JSPEN〉副理事長）より、「GLIM 基準に基づく低栄養評価の普及は、フレイルやサルコペニアの早期発見に不可欠です。特に筋肉量評価は診断の中心であり、BIA 法（Bioelectrical Impedance Analysis：生体電気インピーダンス法）や CT（コンピュータ断層撮影）が利用できない現場では、下腿周囲長の活用が実践的で大きな価値を持ちます。本製品のように、より簡便で再現性の高い測定と判定を支援するデバイスは、医療・介護の双方で低栄養を見逃さない体制構築に大きく寄与すると期待します」とのコメントを頂戴しています。

今後、当社グループは、一般社団法人大学病院栄養連携推進機構や栄養関連学会などとの連携を強化し、GLIM 基準の活用による事例検証を推進し、病院領域にとどまらず、介護施設や在宅領域へと展開を図ってまいります。また、医療 DX 総合プラットフォーム「コラボポータル^{*4}」を活用し、専門の先生方によるセミナーを開催するなど、GLIM 基準の普及・定着に努めてまいります。これらの取り組みを通じて、国民の健康寿命の延伸に貢献してまいります。

※1 GLIM 基準 (<https://www.jspen.or.jp/glim>)

世界の主要な臨床栄養学会が協力し、「Global Leadership Initiative on Malnutrition (GLIM)」として、新しい成人の低栄養診断基準を提唱しました。GLIM 基準は、従来の食物摂取不足による低栄養に加え、医療施設における疾患関連性低栄養も考慮されており、低栄養の診断および栄養治療における世界標準の基準、「世界の共通言語」となることが期待されています。

※2 フレイル

身体的機能や認知機能の低下がみられる状態のこと

※3 サルコペニア

加齢に伴って筋肉量が減少し、筋力や身体機能が低下する状態のこと

※4 コラボポータル (<https://collaboport.com>)

スズケングループのさまざまなサービスを提供する「ソリューション機能」をはじめ、当社グループの営業担当者や MR さま、専門スタッフの皆さまなどがチャットや動画などを活用して、遠隔でお得意さまと接点を持つことが可能になる「コミュニケーション機能」などをワンストップで提供する総合ポータルサイトです。SSO (Single Sign On: 一度のユーザー認証によって複数のシステムの利用が可能になる仕組み) やデータ連携を採用し、アクセス性を高めることで医療・介護現場の業務効率化にも寄与します。

【製品の特長】

本システムは、下腿周囲長測定用のデバイスと低栄養の判定を支援するソフトウェアから構成されます。

1. デジタルメジャー（専用デバイス）で下腿周囲長を測定・自動送信により簡単に記録
2. システムに筋肉量減少評価のカットオフ値を設定し、GLIM 基準の低栄養評価の判定に必要な計算を自動化（初期値：JSPEN の HP 掲載数値を参照）
3. 下腿周囲長だけでなく、BIA 法や CT による SMI（骨格筋指数）の入力および判定もサポート
4. シンプルな操作性を備えたデバイス・ソフトウェアにより、現場の業務効率化を支援

なお、本製品の独自技術やシステムなどについては、現在特許出願中です。

【システムイメージ】

無線通信によりデータを送信



デバイス

低栄養判定支援ソフト

【製品の概要】

1. 販 売 名 : Linéa (リネア)
2. 外 形 寸 法 : W50mm×D20mm×H150mm
3. 重 量 : 65g (バッテリー含む)
4. 希望小売価格 : 29,800 円 (税別)
5. 販 売 目 標 : 3,000 台/年
6. 製造販売業者 : 株式会社アベイル
7. 販 売 先 : 全国のスズケングループ取引先の医療機関等に販売

以 上

＜お問合せ先＞

株式会社スズケン コーポレートコミュニケーション部 林
〒461-8701 名古屋市東区東片端町8番地
TEL:052-950-6307 FAX:052-961-4071
<https://www.suzuken.co.jp>